

明治大学図書館における オープンアクセス取組事例 -「明治大学オープンアクセス方針」の制定-

2022年10月7日 (Fri.)

明治大学 学術・社会連携部 図書館総務事務室

浅野 京子



1. はじめに

- (1) Meiji Repositoryについて
- (2) 本学のリポジトリ業務体制

2. 「明治大学オープンアクセス方針」の制定

- (1) OA方針制定の趣旨
- (2) OA方針制定のプロセス
- (3) 検討過程で議論になったポイント
- (4) 教員（図書委員）の意見
- (5) OA方針制定後の広報活動
- (6) OA方針制定の成果

3. 今後の展望



1. はじめに



1. (1) Meiji Repositoryについて

□ 2008年3月公開

□ 収録コンテンツ数 (2022年3月末時点)

総件数	本文あり件数(率)
16,970	16,889 (99.5%)

資源タイプ別コンテンツ数	
紀要論文	16,269
学術雑誌掲載論文	78
会議発表資料	3
学位論文	605
その他	15
合計	16,970

□ リポジトリシステム

2022年冬、現行のDspaceから (ついに) JAIRO Cloudへ移行



1. (2) 本学のリポジトリ業務体制

□ 専任職員

- ✓ 事務担当 2名（兼務）
- ✓ システム担当 1名（兼務）

□ 業務委託の範囲

- ✓ 紀要論文のデータ化
- ✓ メタデータの作成
- ✓ PDFおよびメタデータのアップロード
- ✓ 著者に発送する許諾書の作成
- ✓ 出版社ポリシーや公開条件の調査

□ 登録フロー

✓ 学内紀要

包括許諾・代行許諾 6割*

*母数に不定期刊行物も含むため、定期刊行の
紀要の包括・代行許諾割合はより大きい

✓ 博士論文

大学院事務室で管理

✓ 学術雑誌等掲載論文

著者からの申し出により登録



2. 「明治大学オープンアクセス方針」の制定



2. (1) OA方針制定の趣旨

本学が「創生された研究成果を広く学内外に公開し、また、そのアクセスを恒久的に保証することにより、学術研究のさらなる発展に寄与し、社会の持続的発展に貢献」することを学内外に向けて宣言すること。（「明治大学オープンアクセス方針実施要領」より）

本学における趣旨

①

**オープンアクセス
概念の学内周知**

- ・大学執行部
- ・学内教職員

②

**オープンアクセス
推進活動の後ろ盾**

③

**リポジトリ登録数の
増加**



**リポジトリ登録の
義務化**



2. (2) OA方針制定のプロセス

主体者：図書館

具体的な動き

- ✓ リポジトリ、電子資料、システム、レファレンス担当による検討チームの設置
- ✓ オープンアクセス方針策定ガイドを参考に、他機関事例を調査
- ✓ 大学執行部や関係部署への説明
- ✓ 学内手続き（各種会議での審議・承認）

（参考）学内手続きの流れ

●図書館スタッフ会議

5月20日	方針策定計画の報告
7月2日	方針・実施要領草案の報告
10月9日	方針・実施要領案の審議

●学術・教育成果リポジトリ運営部会

10月17日	方針・実施要領案の審議
10月24日	方針・実施要領案の再審議【承認】

●図書委員会

6月5日	方針策定計画の報告
7月8日	方針策定進捗状況の報告及び方針・実施要領草案に対する意見徴収
10月28日	方針・実施要領案の審議【承認】

●学部長会

11月20日	方針の審議【承認】
--------	-----------

●理事会

12月4日	方針の審議【承認】
-------	-----------



2. (3) 検討過程で議論になったポイント

① オープンアクセス化は義務？

- ✓ 義務化は必要か
- ✓ 義務化しないなら何のために作るのか



義務だから従ってもらうのではなく、**方針の意義や目的、著者にとってのメリットを伝えていく。**
そのための方針策定である。

② 論文の公開先

- ✓ グリーンOAかゴールドもOKとするか
- ✓ ゴールドOA論文をグリーンOAにするデメリット（手間、版の違い等）をどうするか



論文のOA化を出版社の手に委ねるのではなく、**自らの手で研究成果を蓄積し**
アクセスを恒久的に保証するため、「リポジトリによって公開する」こととした。



2. (4) 教員の意見

□ 図書委員会での実施要領草案に対する意見（図書委員）

- ✓ 方針の対象（図書も含まれるのか）
- ✓ 著者最終稿と出版社版の両方がインターネット上に公開されることへの懸念
- ✓ 学会ホームページ等と機関リポジトリのマルチポストになることへの懸念
- ✓ ゴールドOAによるオープンアクセス化の義務
- ✓ （漠然と）不安…

□ 大学執行部の意見

- ✓ 方針制定の意義に理解を示す
- ✓ 特に反対意見などはなし



2. (5) OA方針制定後の広報活動

- 大学ホームページ
- 全教員向け一斉メール（ポータル）
- 広報誌「明大広報」掲載
- オープンアクセス方針説明会
 - ✓ 2020年3月に開催を計画
 - 新型コロナウイルス感染症拡大により、延期
 - ✓ 2021年3月にオンラインで開催
 - 教員、学内紀要発行部署の職員 約50名参加



2. (6) OA方針制定の成果

グランドデザイン2030

研究における全学ビジョン 重点項目

研究機関として社会的責任を果たすため、創生された研究成果をリポジトリにより公開します。



MEIJI VISION 150-前へ-

研究における全学ビジョン 具体的な施策（第3期中期計画）

本学の研究成果の社会還元を促進するため、「明治大学オープンアクセス方針」に基づき、研究成果のオープンアクセス化を推進する。



3. 今後の展望



3. 今後の展望

- 論文登録を進めるための体制強化
 - ✓ 学内紀要の包括許諾化
 - ✓ 学術雑誌等掲載論文登録の体制づくり

- オープンアクセス方針の周知
 - ✓ 説明会の継続実施
 - ✓ 広報ツールの充実

- オープンアクセス推進事業の継承
 - ✓ 方針が形骸化しないための引継ぎ、人材育成、人員配置等



参考文献

□ 明治大学オープンアクセス方針

<https://www.meiji.ac.jp/koho/institution/6t5h7p0000256xtv.html>

□ 明治大学グランドデザイン2030

<https://www.meiji.ac.jp/gakucho/granddesign2030/index.html>

□ MEIJI Vision 150

<https://www.meiji.ac.jp/koho/meijivision150/>

□ 矢野恵子.「明治大学オープンアクセス方針」の制定.『図書の譜-明治大学図書館紀要』25号
2021.3 <http://hdl.handle.net/10291/21695>

□ 丸山郁太郎. 機関リポジトリへの取り組み事始.『図書の譜-明治大学図書館紀要』11号
2007.3 <http://hdl.handle.net/10291/470>



ご清聴ありがとうございました

明治大学 図書館総務事務室
リポジトリ担当
rep@lib.meiji.ac.jp

